2025.5.8 thu　国際ロータリー第2530地区　創立 1951.1.1　承認 1951.3.23　登録番号 7734

vol.34 福島ロータリークラブ会報

■ https://www.f-rotary.com/

Rotary　ロータリーのマジック

【例会場】福島市野田町1丁目10-41 エルティ
【例会日】木曜日12：30
【事務所】福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F
【TEL】024-536-1010　【FAX】024-536-1011
【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp　info@f-rotary.com

［ホームページ］　［Facebook］

2024-25 RI 会長　ステファニー A. アーチック

本日のプログラム

■ RYLA 研修会参加報告　㈱マクサムコミュニケーションズ　佐藤新佳 様　田中満裕 様

■ 米山記念奨学生ごあいさつ　米山記念奨学生　司 朝陽 さん

会長あいさつ

2024-25年度会長　菅沼 裕

皆さん、こんにちは。
5月第1週目の例会となりました。
まず、藤島憲明様入会おめでとうございます。会員を代表し、心から歓迎いたします。ロータリーを楽しんでください。

4月から世話クラブとなり、米山記念奨学生 司朝陽さんをお迎えすることになりました。プログラム内でご挨拶をいただくこととなっております。積極的にクラブ行事や奉仕活動に参加して、楽しんでください。

中間報告ですが、ポリオ・プラス・ソサエティの登録が14名と現在県内で1番となっております。ご協力に感謝するとともに、より多くの方の登録を改めてお願いいたします。

みなさんはゴールデンウィーク、いかがお過ごしだったでしょうか?私は夜の街のパトロールもできなくて長い休みはほんとに大変です。きっと私と同じような方がいらっしゃると思います。

さて5月のロータリー月間テーマは青少年奉仕月間となっています。私は2年間青少年奉仕委員会で委員長をさせていただきました。彼らと色々な奉仕活動をして感じたことは、1つの目標に対して、とても真剣に向き合っていて、今から45年前の自分を思い出すとちょっと恥ずかしくもなります。

第2530地区には24のインターアクトと8のローターアクトがあります。当クラブは、福島東稜高校インターアクトと福島学院大学ローターアクト2つの提唱クラブとなっています。第2530地区60クラブ中インターアクト・ローターアクトの両方を提唱しているのは3クラブだけです。青少年奉仕と言いますが、この奉仕は奉仕というより未来への投資のような気がします。

本日はRYLA研修会に参加いただいたマクサムコミニケーションズ佐藤新佳様と田中満裕様のスピーチとなっております。楽しく拝聴したいと思います。

以上、会長挨拶とさせていただきます。
ありがとうございました。

例会次第

国歌斉唱、ロータリー・ソング「奉仕の理想」
ソングリーダー　中嶋基晴 会員

中嶋基晴 会員

四つのテスト唱和
職業奉仕小委員会　安斎圭一 副小委員長

安斎圭一 副小委員長

お客様並びに来訪ロータリアン紹介
㈱マクサムコミュニケーションズ
佐藤新佳 様
田中満裕 様
米山記念奨学生　司 朝陽 さん

佐藤新佳 様

入会式
新会員　藤島憲明 様
（損害保険ジャパン㈱福島自動車営業部長
兼 福島支店長）
（ご紹介　金子與志幸 会員）

田中満裕 様

メンター委嘱状交付
藤島憲明会員メンター　金子與志幸 会員

司 朝陽さん

米山記念奨学金 4月分・5月分支給
米山記念奨学生　司 朝陽さん

藤島憲明 様

米山記念奨学生カウンセラー委嘱状交付
菅野 晋 会員

古俣 猛 会員

5月誕生お祝い

■各委員会報告
歴代分区代理・ガバナー補佐会議報告
古俣 猛 会員
公共イメージ委員会「友」5月号紹介
五阿弥宏安 副委員長
例会小委員会　ニコニコBOX 担当
氏家有紀 委員

五阿弥宏安 副委員長

氏家有紀 委員

本日のプログラム

RYLA研修会参加報告

㈱マクサムコミュニケーションズ

佐藤新佳 様

これより第43回のRYLA研修会についてご報告をさせていただきます。今回の研修は「人生を動かすスキル」をテーマに、座学と実技、そしてグループディスカッションを行いました。本日はそのなかで、2名の講師の方から学んだことについて重きを置いてお話させていただきたいと思います。

初めに行われたのは、青森大学教授・竹林正樹先生による『認知バイアスとナッジ』に関する講演です。

人はなぜ正しい知識を得ても行動することができないのでしょうか。その一因には認知バイアスという認知の歪みが関係しています。しかし、認知バイアスは系統的な認知の歪みであり、ある程度予測が可能だと竹林先生はおっしゃりました。この性質に基づき、行動を促進する要因となる認知バイアスを味方にし、行動を阻害する要因となる認知バイアスを抑制する「ナッジ」という仕組みを活用することで、相手を望ましい行動に導けるということを知り、非常に驚きました。

私は以前より認知バイアスの存在自体は知っていましたが、日常生活の様々な意思決定の場において悪影響を及ぼす可能性があるため、排除されるべきものと考えていました。しかしこの講演を通じて、認知バイアスを単に否定するのではなく、どのように付き合っていくべきかを考えることの重要性に気付きを得ることができました。

次に行われたのは、ノンフィクション作家・中村淳彦先生による『人間関係構築において傾聴がもたらす効果』についての講演です。

中村先生はこれまで、貧困化する日本の現実を可視化するために、様々な方の話にひたすら耳を傾けてきたそうです。その実体験を拝聴する中で、傾聴がいかに相手の心を開き、信頼関係を深めるのに有効なのか再認識することができました。

しかし、コミュニケーションは誰しもが日常的に行っている行為であるため、それ自体を特別に学ぶ必要があるスキルとして認識されにくく、その重要性が軽視されがちなのではないのでしょうか。

今回学んだ傾聴においてのポイントは、目線の位置や相手との距離、ミラーリングなど簡単に実践できるものばかりでした。些細なことではありますが意識的に実践していくことで、相手の話に積極的に耳を傾け、良好な関係構築へのために活用していきたいと思います。

私がこの研修会の案内を初めて拝見させていただいたとき抱いた正直な感想は、「人生を動かすスキル」など本当にそんなもの存在するのだろうか、という疑いでした。だからこそ、その真偽を自分で確かめたいと思い、今回研修に参加させていただきました。しかし、2日間の研修を経て今振り返ると、自分の人生を、そして周囲をも変えるきっかけとなる鍵を数多く見つけることができ、大変価値のある学びであったと実感しています。

また、私は普段バックオフィスとして仕事をしているため、社内外の人と接する機会がなかなかありません。そのため、業種も職種も年代も違う方々と研修を通じ交流することができたのは、大変貴重な経験でした。特にグループディスカッションでは、同じテーマであってもその人その班によって様々なアプローチがあり、良い刺激を受けたのと同時に、自分の視野を広げることができました。

ロータリークラブの皆様方には、研修会を通し、こうした学びの機会を与えてくださったこと、心より感謝申し上げます。

この貴重な学びを無駄にすることの無いよう、仕事や私生活にどう生かすことができるかを考え、意識的に行動に移していきたいと思います。

㈱マクサムコミュニケーションズ

田中満裕 様

今回のRYLA研修会への参加は、今後の私自身の活動にとって非常に有意義であり、貴重な経験となりました。「人生を動かすスキル」というテーマのもと、3名の講師の方々による講演に加え、参加者同士で意見を交わしながら行ったグループディスカッションを通じて、多くの気づきと学びを得ることができました。

竹林先生による「ナッジ」に関する講義では、人間の行動に影響を与える認知バイアスを活用し、自然と望ましい方向へと導く手法について学びました。これは単に相手の行動をコントロールするのではなく、あくまで本人の意思決定を支援するという視点が非常に印象的でした。講義の内容は、他者との関わりに限らず、自分自身の目標設定や行動選択にも応用できるものであり、すぐにでも実践できる内容で、多くの気づきが得られました。私は現在、WEBデザインやライティングといったクリエイティブ業務に携わっており、集客やユーザーの行動を促すための設計には、配色やレイアウトなど視覚的な要素が大きく関わってきます。今回の講義を通じて、これらの要素が無意識のうちに人の意思決定に影響を与えているという点を改めて認識し、「ナッジ」の考え方を今後の制作に積極的に取り入れていきたいと感じました。

中村先生の「傾聴」に関する講義では、良好な人間関係を築くために必要な「聴く力」について、理論と実践の両面から学ぶことができました。単に相手の言葉を受け取るのではなく、目線の合わせ方や座る位置、さらには質問の仕方やタイミングなど、言葉以外の部分も含めた、総合的なコミュニケーションの技術に触れることができまし

た。また、相手の本音を引き出すことで、その背後にある価値観や人生観に触れることができるという点が、非常に印象的でした。今後は、相手との信頼関係を築くために、日々の会話の中でも「傾聴」を意識し、相手の話に丁寧に耳を傾けながら、より深いコミュニケーションができるよう心がけていきたいです。

大内先生による「ブレインフィットネス」の講義では、脳の柔軟性と成長の可能性について、新たな視点を得ることができました。私たちはつい、ストレスや負荷を避けがちですが、脳にとっては、ある程度の負荷こそが活性化の鍵になるという考えに、深く納得させられました。日々の生活や仕事の中でも、「苦手だから」「難しそうだから」と避けてしまうことは少なくありません。しかし、挑戦し続けることで脳がそのパターンを学び、成長していくというメッセージには、勇気づけられました。また、脳に適度な刺激を与えることで、新しい発想や柔軟な判断力を育むことができるという点も非常に印象的でした。これからは、日常の中に小さなチャレンジを意識的に取り入れていきたいです。

そして、他の参加者とのグループディスカッションや懇親の場を通じて、さまざまな業種・職種の方々と交流することができたことも、大きな収穫でした。それぞれ異なるバックグラウンドを持つ方々の考え方や価値観に直接触れることで、自分自身の視野が広がり、柔軟な思考の重要性を改めて実感しました。

普段の生活ではなかなか出会えないような方々との交流を通じて、多くの刺激を受け、人と関わる楽しさや意義を再確認することができました。

今回のRYLA研修会で得た知識や経験を、日々の生活や仕事に活かしながら、さらに成長を目指して取り組んでいきたいと思います。貴重な機会をいただいた右近社長、そしてロータリークラブの皆さまに、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

米山記念奨学生ごあいさつ

米山記念奨学生

司　朝陽 様

皆さん、こんにちは! 私はシチョウヨウと申します。中国語陝西省出身で、2018年4月に日本にまいりました。2018年から2020年までの間に東京の日本語学校に通っていました。2020年4月に福島大学に受かって、入学しました。2024年3月に福島大学を卒業し、福島大学大学院に進学することにしました。2026年3月に修士課程修了の見込みです。趣味は読書したり、新しい知識を勉強したりすることです。知識を活用することによって、世の中の人々を助ければと考えております。

福島1F事故後、大量の放射性ヨウ素129が環境中に放出され、人体への影響が懸念されています。それに応じて、分析手法の開発が求められています。しかし、環境中のヨウ素129は極微量で、環境試料をICP-MSに直接導入すれば、検出不可になります。そのため、サンプル試料濃度を高めて、濃縮するプロセスが必要になります。中空糸型正浸透膜（FO膜）は加熱加圧不要で、膜の両側の浸透圧を駆動力として、サンプル試料を濃縮できる装置です。これを使用し、環境中の放射性ヨウ素129をICP-MSの検出下限値以上の濃度まで濃縮し、福島の放射性物質分析に大きく貢献できることを期待しております。

修士課程を修了した後、研究職に就きたいと考えております。社会に貢献し、自己の価値を実現したいです。可能であれば、環境中の放射性物質の濃度を測定し、放射性物質を除去する方法を研究したいと思っています。私は福島に住んでおり、福島に来てから、放射性物質が私たちの生活にさまざまな問題を引き起こし、巨大な脅威を構成していることを痛感しています。そのため、研究を通じてこの問題を解決し、福島の人々の生活に貢献したいと思っています。現在私が取り組んでいる研究テーマは環境中の無機物質の分離と濃縮に関するものです。今後は現在の研究テーマを継続し、更に今の研究を礎として、放射性物質の研究を企画しようと思います。将来は社会に貢献でき、現実的な人類の課題が解決できる人間を目指して、日々、頑張ろうと思います。

ご清聴ありがとうございました。

ロータリーの友5月号

■特集・青少年奉仕月間（横書きP7～P11）
ミライへの扉を開く
地域を挙げてプログラミングコンテンス開催

子どもの約5割が学校以外で日常的にパソコンを使っておらず、AIなどが経済成長をけん引するデジタル時代の人材育成で、世界に大きく後れを取る可能性が懸念されています。そこで、特集では地域を巻き込んで、デジタル先進都市をつくろうと活動を進める、東京八王子RCの挑戦が紹介されています。

■SPEECH（縦書きP4～P8）
企業・組織における
メンタルヘルスはなぜ大事か
2024年3月17日　RI第2690地区第8・9グループ合同IM特別講演要旨
川上憲人　（一財）淳風会代表理事 理事長
東京大学名誉教授

メンタルヘルスとは何か、企業・組織においてメンタルヘルスはなぜ大事か・何ができるのか、経営者こそができる「ポジティブメンタルヘルス」の取り組み、さらに、経営の中でメンタルヘルスを重視する新しい潮流についてお話しされています。

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

■㈱マクサムコミュニケーションズ
佐藤新佳 様

■㈱マクサムコミュニケーションズ
田中満裕 様

■米山記念奨学生
司 朝陽 さん

入会式・メンター委嘱状交付

■損害保険ジャパン㈱
福島自動車営業部長
兼 福島支店長
藤島憲明 様
（ご紹介　金子與志幸 会員）

■藤島憲明会員メンター
金子與志幸 会員

5月誕生お祝い　おめでとうございます

●**長谷部一雄 会員**
昭和19年5月7日
●**佐藤　朋幸 会員**
昭和42年5月2日
●**中川　宏生 会員**
昭和46年5月22日
●**小原　　敏 会員**
昭和28年5月14日
●**静　　徹也 会員**
昭和42年5月19日
●**鈴木　勇人 会員**
昭和47年5月18日
●**狩野　安則 会員**
昭和31年5月20日
●**三浦　康伸 会員**
昭和43年5月26日
●**金子與志幸 会員**
昭和62年5月7日
●**大槻美恵子 会員**
昭和38年5月24日

私のひと言

㈲テレサ
代表取締役
箱岩 偉 会員

働き方改革と言う言葉を耳にして幾ばくかの時間が経った。
弊社では有休休暇を50％以上取得するよう強く求め、自分時間を楽しむ為に働く事を推進している。
そんな中今度は、改正労働安全衛生法が6月1日から施行され、職場環境の整備、とりわけ熱中症対策が義務化され、それを強行に推し進めなければならない事態に。
なにしろ6ヶ月以下の懲役または50万円以下の罰金が科されるのだから。
次から次へと要求される諸課題に、日本を支える中小・零細企業がどれだけ対応できるのか？
今までもそしてこれからも、事業主は終わりなき戦いを続けなければならない。負けてたまるか！

米山記念奨学金４・５月分支給／カウンセラー委嘱状交付

■米山記念奨学生
司 朝陽 さん

■米山記念奨学生カウンセラー
菅野 晋 会員

幹 事 報 告

岡田新也 幹事

■本日例会終了後、５月理事会を1Fフランにて開催いたします。役員理事の皆様よろしくお願いいたします
■次週の例会は福島赤十字病院への職場訪問例会となります。12時からお食事を準備しておりますのでお早めにお越しください。
■5/9（金）地区クラブ行動推進リーダー会議が開催されます。当クラブより菅沼会長、相良元章次年度ガバナー補佐、善方邦彦次年度公共イメージ委員会委員長が出席いたします。
■５月のロータリーレートは１ドル142円となりますのでお知らせいたします。

ニコニコBOX報告　本日の投入額50件　報告　氏家有紀 委員

〈メッセージ会員〉

●**右近 八郎 PG**
本日社員2名が、RYLA研修生としておじゃましています。よろしくお願いします。

●**大槻 美恵子 会員**
お誕生祝いありがとうございます。これからは〝晩晴〟をめざして修行してまいりたいと思っています。

●**加藤 義朋 会員**
5月連休中に長男、長女夫妻、次女と帰福してくれたので、ニギヤカに過ごせました。

●**金子 與志幸 会員**
損保ジャパン藤島様のご紹介させていただく機会大変光栄でございます。ようこそ福島へ、よろしくお願いいたします。

●**佐藤 有 会員**
よろしくお願いします。

●**中川 宏生 会員**
誕生祝ありがとうございます。

●**長谷部 一雄 会員**
誕生祝ありがとうございます。

●**坪井 大雄 会員**
ライラ研修会参加報告、楽しみにいたしております。

●**山野辺 宏 会員**
藤島様のご入会歓迎いたします。

●**菅沼 裕 会長**
ゴルフ100切りへの道報告。5/1パーシモン96、5/4あだたらCC残念ながら101、道は険しいです。でも1回は切ったので、ウレシーです。

●**岡田 新也 幹事**
RYLA研修会報告、米山記念奨学生、司さんのスピーチ楽しみにしてます。

〈同文の会員〉

安斎圭一／安藤正明／安部 守／井田裕子／今西英量／岩見孝之／氏家有紀／内池 浩／大橋真孝／小原 敏／小原孝嗣／菅野 晋／管野裕一／五阿弥宏安／小林仁一／古俣 猛／相良元章／佐藤永之／佐藤充孝／佐藤美奈子／佐藤良智／塩塚圭輔／善方邦彦／田沼紀美子／丹治正博／仲尾雅至／中嶋基晴／浪木克文／幡 研一／藤井 守／本多修一朗／本田裕一／村上守人／村山由美子／八巻恵一／横山 淳／吉田大樹／渡邊 大／渡辺泰子